

## 第4回 第1章 現代の政治

### 第2節 日本国憲法の基本原理

# 日本国憲法の制定

講師

藤井 剛

#### 学習のねらい

今回のテーマは、「日本国憲法の制定」です。そもそも憲法は何のためにあるのか、そして憲法にはどのような内容が書かれているのかを学びます。その後、どのような過程で日本国憲法は制定されたのか、そして日本国憲法の三大原理は、どのような内容なのかを学んでいきましょう。

調べておこう  
覚えておこう

国民主権／民主主義／平和主義／助言と承認／多数決／象徴／  
国事行為／GHQ（連合軍司令部）／最高機関／基本的人権／  
ポツダム宣言／大日本帝国憲法／治安維持法／男女普通選挙

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 憲法は何のためにあるの？

- 憲法はなぜあるのか、という問いに対する答えの一つは、「私たちにとって当たり前の自由な生活を支えてくれる法が憲法」であるというものです。  
反対に考えると、憲法が ① \_\_\_\_\_ を定めていないと、好きな本は読めないし、不当に逮捕される国になってしまう危険性があるのです。
- 憲法にはいろいろな内容が盛り込まれています。その中心は基本的人権の保障です。  
基本的人権とは「 ② \_\_\_\_\_ で決めてはいけないこと」ということであり、表現の自由や信教の自由は多数決にはなじまないのです。
- 立憲主義とは、憲法に基づいて政治を行うという原理です。具体的には、政治を担当している人たちに憲法を守らせることによって独裁などが起きないようにするという考え方です。ですから、第一義的に憲法を守るのは為政者です。

#### POINT 2

### 日本国憲法の成立

- 日本国憲法が制定されるまでは、明治憲法と略称される ③ \_\_\_\_\_ が存在していました。明治憲法は、天皇主権だったため軍部の独走をコントロール出来ず、第二次世界大戦を引き起こしました。また、人権は規定されていましたが、天皇から与えられた臣民の権利で、しかも法律の留保と呼ばれる、法律で人権を制限することが可能でした。典型的な例は ④ \_\_\_\_\_ です。

